



しあわせ便り

第28号

しあわせ創研が「長島町の皆様だけ」に、しあわせをお届けします。

発行者：しあわせ創研(社会保険労務士事務所)
社会保険労務士 門元 隆臣
携帯電話：090-5249-4848

鹿児島県出水郡長島町蔵之元230番地 〒899-1301

スマホ登録
QRコード

Fax/Tel: 0996-88-5326

Mail: info@shiwase-ci.com

WebPage URL: http://shiwase-ci.com/



～ご相談はご連絡いただければ当方が伺います～

しあわせ便りは一人の社会保険労務士、門元隆臣の個人的見解を発信しているものであり、他の社労士諸氏にはまた別の考え方もある旨ご承知おきください。

◆気になるあれこれ「2030年 コロナ後の世界3(終)」 〈楽観的な未来〉

瞬く間に世界に拡散した感染症は、完全に駆逐できないこと、また獲得できる免疫も長期間の効果が無いことはすぐにわかった。だが、幸いなことにウイルスの感染力は、屋外で適切な間隔を保てば恐れるほど強くないこと、そして、その毒性も徐々に減少していることもわかった。定期的なワクチン接種と感染検査は必須となったが、効果的な治療法も確立されつつある。

このところ人口分散傾向が見える。理由のひとつは、感染症対策として働き方の改革・再編がされる中で、リモートワーク化が進み、必要に応じて出勤すれば足りる業種や、職種が多くあることに気づいたことだ。特に旧態依然としていた、行政官庁の諸手続きがオンラインで可能となり、弾みとなった。

さらに感染症の流行と前後して、大陸に発生したいくつかの災いや、国家を分裂させるほどの紛争は、世界的な食糧不足を招き、農林水産業の重要性が再認識されたこともその理由となった。その結果、リモートワークをしながら、田舎を生活の場とする若者が増えたことで、地方に活気が戻りつつある。いずれ都市部と地方部は、それぞれの特色に応じた成長を目指すことになり、その格差も縮小していくだろう。

もちろん、10年程度の期間で社会は大きくは変わらない。しかし、この感染症は人々の心の持ち方を大きく変えた。目に見える幸せを一所懸命追ってきた人々を、突然襲った恐怖。突然自分が発症し、死ぬこともあるという理不尽さは、多くの人々が生き方の多様性に目覚めるきっかけとなったのは事実だ。今日までの10年は人間の忍耐強さ、適応力、強さ、そしてそれに反して愚かさ、醜さを改めて知る機会となった。

この先、世界がどう変わるかは、まだわからない。ただ、人間は今まで通り強かに、そして愚かに生きていくのだろう。

〈現在：楽観的エピソード〉

感染拡大から半年、収束はまだ見えない。おそらく他の感染症と同様に、毎年一定程度の犠牲者を出しながら、共存する以外にないだろう。だが、悲観することはない、私たちは今まで知恵と努力で、幾多の存亡の危機を乗り越えてきた。今できる最善を尽くせば、乗り越えることができるはずだ、きっと。

お知らせ

- 最新の新型コロナウイルス感染症対策は右のQRコードからスマホで参照してください。

厚生労働省



経済産業省



9月の総務課ダイアリー

- 9月10日…源泉所得税期限
- 社会保険料定時決定を9月分より適用 ただし、納期限は10月末日

4コマまんが

行け、しあわせさん!!

Vol.28 しあわせはHOT

